

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和06年03月01日

計画の名称	安全安心で快適な都市公園の整備推進計画（防災・安全）												
計画の期間	平成30年度～令和04年度（5年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	長岡京市												
計画の目標	公園施設の計画的な維持管理を図るために長寿命化計画を定め、トータルコストの低減を図りながら公園施設の改築・更新を実施し、公園利用者の安心安全を確保する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	158	A	158	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		H30	R2末	R4末
1	遊具のある都市公園の内、公園施設長寿命化計画に基づき適切に管理された都市公園の数を0%（H30）から48%（H34）に増加。 公園施設長寿命化計画に基づき、適切に管理された都市公園の割合 （公園施設長寿命化計画策定公園数／遊具のある都市公園数×100（%））	0%	48%	48%
2	公園施設長寿命化計画に基づき、改築・更新等が必要と判断された施設を、安全な施設に整備する。 都市公園における、老朽化した遊具を改築・更新した割合 （改築・更新等を実施した遊具数／長寿命化計画で改築・更新が必要と判断された遊具数×100（%））	0%	20%	50%

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
都市公園・緑地等事業	A12-001	公園	一般	長岡京市	直接	長岡京市	—	—	公園施設長寿命化計画策 定事業	都市公園の公園施設長寿命化 計画策定	長岡京市	■					10	—	
	A12-002	公園	一般	長岡京市	直接	長岡京市	—	—	公園施設長寿命化対策支 援事業	遊具の改築・更新	長岡京市		■	■	■	■	54	策定済	
	A12-003	公園	一般	長岡京市	直接	長岡京市	—	—	公園施設長寿命化対策支 援事業（5か年老朽）	健全度D判定等の緊要な対応 が必要な遊具の改築・更新	長岡京市			■	■	■	94	策定済	
											小計							158	
											合計							158	

事後評価

○事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
長岡京市建設交通部公園緑地課	令和6年3月
	公表の方法
	長岡京市ホームページに掲載

○事業効果の発現状況

定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設の長寿命化計画を策定することで、既存施設の耐用年数の延伸とライフサイクルコストの縮減のために、必要な事業の把握が可能となった。 老朽化した遊具等の施設の改築・更新を計画的に進めることで誰もが安全で安心して利用できる快適な公園を保つことができた。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	<ul style="list-style-type: none"> 公園施設について健全度の確認を行うことで、補修や更新が必要な施設を把握し、より安全で安心して利用できる都市公園の維持・管理が可能となった。 老朽化した遊具等を計画的に更新したことで、整備計画期間内での遊具起因による重大事故は発生しなかった。 遊具等の改築・更新を進めるにあたり、地域の声を積極的に反映することで、利用者に愛着のある遊具として再整備できた。

○特記事項（今後の方針等）

公園における重大事故発生のリスク低減にあたっては、継続的な施設改修が必要となるため、本整備計画期間終了後も継続して事業に取り組んでいく。

○目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値／実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	最終目標値	48%
	最終実績値	47%
当初予定していた公園を遊具更新により計画策定対象外としたため		
2	最終目標値	50%
	最終実績値	51%
公園施設の劣化・損傷の状況に応じて改築工事対象公園の見直しを行ったため		